

振り返る

復旧・復興

益城町未来トーク

若い世代も復興に参加

町も積極的に支援し、声を形に

昨年、復興計画策定に向けて開催した、20回を超える住民意見交換会の中に、若年層の姿がほとんどのないことが課題となっていた折、参加者からも「今後、町の主役になるであろう若い世代の意見を聴き、復興計画に反映してほしい」という意見が多数挙げられました。

そこで、復興やまちづくりには、若者が参加できる場を作ろうとの思いから始まった『益城町未来トーク』。「町の復興のために自分たちができること」をテーマに、益城町の未来について若者同士が語り合うワークショップを計5回開催しています。

活気あふれる若者の活躍の場

若者向けの意見交換会という位置づけでスタートした未来トーク。活気にあふれた話し



合いの中では、「益城をPRできるような特産品がほしい」「フェス（フェスティバルの略＝祭典）で町を盛り上げたい」「町の魅力となる名所を作りたい」など、町の未来が明るくなるようなアイデアがたくさん挙がっています。

アイデアが次々と形に

若者から挙げられたアイデアの一部は町へ届けられ、行政を動かしました。しかし、それだけではありません。若者たちが自分たちで企画し、実現させようという積極的な動きが起こっています。

現在では、未来トーク参加者が主体となり、地域や企業、団体の協力を得ながら、まちづくり活動へとつながり始めています。実際、地元農産物を使ったジェラートの開発や、音楽フェスの開催など数々のアイデアが形となって実現へと至りました。

実現した主なもの：復興大使制度の創設／町内企業等による復興応援動画の作成／マシフェスの開催（来場者500人超）／地元特産物を使ったジェラートの開発・販売／町のPR動画作成（再生回数1万5千回超）



未来に向かってさらなる活躍の拠点が完成

実現したプロジェクトの一つ、『miri-bacco・未来箱・』がこのたび完成。若者に限らず幅広く住民が集える気軽なコミュニティスペースとして、これから、未来志向のまちづくり、にぎわいづくりに利用されます。

今後も強力にバックアップ

復旧・復興はまだ始まったばかり。その中で、未来を生き、町の将来を担う若者たちの無限の可能性に期待を寄せながら、町としても、活気に満ちたまちづくりの実現に向け、引き続き未来トークをしつかりとバックアップしていきます。

企画画財政課復興企画係
☎ 286・3223

農家の自力復旧を支援

農地自力復旧事業の申請受付期間を延長します

農業維持のため、営農の基盤である被災した農地を農家が自ら復旧するための経費の一部を支援しています。

なお、補助金交付申請の受付期間を延長しましたので、期限までに申請をしてください。

支援の対象となる経費など詳しいことは、お問い合わせください。

- ◆補助率…対象事業費の2分の1以内
- ◆補助金上限額…20万円
- ◆申請受付期限…**3月20日**（火）
- ◆受付場所…町公民館講堂

※12月中旬に役場仮設庁舎へ移転します。

☎ 289-8307